

## 松山地域の学校の在り方に関する検討内容の最終取りまとめ

### 1 基本方針

『「将来の担い手となる子供たちにとって、より良い学びの場となるよう検討を進める。検討に当たっては、当事者である保護者の意見を大切にす  
る。」ことを基本とし、「教育のまち 松山」の構築を目指す。』とする。

### 2 今後の方向性

- (1) 統合の形態 小中一貫校（義務教育学校）
- (2) 統合後の学校の位置 松山中学校
- (3) 統合の時期 令和11年4月

### 3 教育環境の整備等に関する要望

- (1) 統合準備委員会を設置し、統合する上で必要な検討事項については、保護者、地域等の意見を聴いて、統合方針の決定に努めていただきたい。
- (2) 「教育のまち 松山」の目指す具体像と実現するための施策等を検討していただきたい。
- (3) 小学校の統合に当たっては、ハード面及びソフト面共に児童生徒が安心して通えるよう教育環境の整備をしっかりと行っていただきたい。
- (4) 小学校の統合に当たっては、児童の環境の変化に対応できる体制の整備を図っていただきたい。
- (5) 小学校の統合に当たっては、松山小学校及び尾野見小学校の児童の通学距離及び通学時間がこれまでよりも長くなることから、スクールバスを導入する等、児童の負担とならないよう通学手段を確保していただきたい。また、自転車通学の対象となる生徒についても、利用することができるよう配慮していただきたい。
- (6) 小学校統合後の学校跡地の有効的な利活用策について、検討委員会を設置するなど、地域と共に検討する場を設けるとともに、伴走型の支援をしていただきたい。
- (7) 統合するまでの4年間は、中学校及び小学校3校が授業、学校行事等を通じて積極的に児童生徒の交流の場を設けるとともに、こども園等と小学校の連携による子供同士やPTA行事等を通じた保護者同士等についても交流を図り、統合後の学校生活等に円滑に対応できるようにしていただきたい。

### 4 まとめ

この「最終まとめ」を受けて、松山地域の学校が将来の担い手となる子供たちにとって、より良い学びの場となるよう、教育委員会において、施策の確実な実施と学校への支援を行っていただき、「教育のまち 松山」の実現に向けた取組が加速していくことを期待します。

令和7年4月16日

志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会